

発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修① (感覚の受け取り方の違いを知る)の概要

1 研修の目的

発達障害の8割以上の方に触覚や聴覚等の感覚の受け取り方の偏りがあり、それらが要因となり、列に並ぶのが難しい、特定の服しか着ることができない、呼んでも振り向かない等の行動や生活に影響していると言われています。

この研修は、感覚運動遊びの実践を通して、人によって感覚の受け取り方に違いがあることを体感していただき、発達障害児の発達を促す遊び方と支援のポイントについて作業療法士から学ぶ実習形式の研修です。

発達障害児は、ちょっとした配慮で日常生活の場でできることが広がります。この研修を通して、子どもたちが無理なく社会生活に適應できる支援の取得を目指します。

※さいたま市の方は下記URLより、「支援者向け研修」をご確認ください。

2 対象者 埼玉県内の支援者 <https://www.city.saitama.jp/002/003/004/003/001/p009014.html>

- ・発達障害支援専門研修受講者
- ・発達支援マネージャー育成研修受講者

3 研修方法

集合型研修

4 会場

埼玉県発達障害総合支援センター 研修室

(さいたま市中央区新都心 1-2 県立小児医療センター南玄関3階)※小児医療センターの正面玄関からは入れません。



5 内容

○講義、模擬体験、事例検討

以下の項目について講義と実習を通して学びます。

- ・発達の基礎となる感覚(触覚・前庭覚・固有受容覚等)って何?
- ・感覚の受け取り方の違いによる生活の中での影響ってどんなこと?
- ・発達が気になる子どもに支援をしていくときの工夫は?

※例年ブランコやトランポリン等の遊具が設置された部屋で実習を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から使用しません。遊び体験は、他参加者と物の共有をしない形式で行う予定です。また、事例検討の際は、フェイスシールドの着用やパーティションの設置等の感染対策をします。

6 講師

- ・主に県内で働く作業療法士です。
- ・一般社団法人埼玉県作業療法士会子ども支援委員会のご協力をいただいています。

7 日程

研修は、半日（3時間）です。いずれか1回お申込みください。

	日程	時間		日程	時間
1	9月 2日(木)	9:30~12:30	2	9月 7日(火)	9:30~12:30
3	10月23日(土)	9:30~12:30	4	11月 4日(木)	14:00~17:00

※当日の受付は、研修開始時間の30分前から開始します。

8 申込方法

電子申請・届出サービスで「登録せずに申し込む」からお申し込みください。

【当センターホームページからの入り方】

総合トップ → 組織情報 → 発達障害総合支援センター → 令和3年度研修一覧
→ 発達障害支援専門研修(もしくは、発達支援マネージャー育成研修) → 「発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修①(感覚の受け取り方の違いを知る)」

※お申し込みは、先着順となります。受講決定のご連絡は行っていません。

申込入口 QRコード



9 申込期間・定員

申込期間: 令和3年6月16日(水)13時00分~各研修日程の1週間前まで

定員: 各回20名(定員に達し次第募集を締め切ります。)

※例年40名定員でしたが、感染拡大防止の観点から半数とします。

10 注意事項

- 実施方法が変更になることがありますので、随時当センターホームページをご確認ください。
- この研修は、実習がありますので動きやすい服装でご参加ください。
- 公共交通機関をご利用ください。小児医療センターの駐車場利用減免はできません。
- 来所前に検温の上お越しください。
- 来所時の検温・手指消毒、受講中のマスク着用にご協力ください。
- 研修会場は、換気のためドアを開けます。室温の変化に対応できるよう、服装での調節、水分補給を行うなど体調管理には十分ご注意ください。

※以下に該当する場合は来所を控えていただくようお願いします。

- ・平熱を超える発熱、咳、喉頭痛、倦怠感(だるさ)、息苦しさ、嗅覚や味覚の異常を含む風邪のような症状や体調不良の方
- ・本人または同居家族、職場を含む身近な方が保健所等から新型コロナウイルス陽性者、もしくは濃厚接触者といわれ、自宅等での待機を要請されている方

埼玉県発達障害総合支援センター

Tel:048-601-5551 Fax:048-601-5552

E-mail: m015551@pref.saitama.lg.jp